



2026年6月12日

各位

会社名 株式会社クロスフォー
代表者 代表取締役社長 内藤 彰彦
(コード番号：7810 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役 山口 毅
(TEL.057-008-9640)

2026年7月期 通期連結業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年9月12日に公表いたしました2026年7月期 通期の連結業績予想及び2026年7月期 期末配当予想を、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 2026年7月期の連結業績予想数値の修正 (2025年8月1日～2026年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,010	70	33	30	1.77
今回修正予想(B)	5,428	78	70	36	2.11
増減額(B-A)	1,418	8	37	6	
増減率(%)	35.4	11.4	112.1	20.0	
(ご参考) 前期実績 (2025年7月期)	3,757	55	23	22	1.30

(2) 修正の理由

ジュエリー業界におきましては、個人消費が底堅く推移したことに加え、地金相場の大幅な上昇等を背景に、全体として堅調な動きが見られました。一方で、物価高の継続、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、中東情勢をはじめとする地政学的リスク等がジュエリー商品の需要や調達環境に与える影響も懸念され、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループは、国内の大手小売店及び卸売業者に対し、各社の需要や販売動向を踏まえた企画提案型の営業活動を推進してまいりました。その結果、国内においては、顧客ニーズに即した商品提案が奏功し、受注は堅調に推移いたしました。また、展示会会場における顧客のライブ販売への商品供給や、顧客のライブ販売に向けた商品の販売機会の拡大に取り組むとともに、地金相場の上昇を背景とした地金系商品の販売増加も業績に寄与いたしました。

一方、海外においては、アメリカ市場における関税の影響が継続したことに加え、地金相場の高騰に伴う販売価格の上昇により需要が減退し、全体として受注環境は軟調に推移いたしました。もっとも、一部の海外大手顧客からの受注について

は、当初第4四半期に見込んでいた案件が第3四半期に前倒しとなったことにより、第3四半期累計期間までの業績に寄与いたしました。

このような状況を踏まえ、当社グループでは、国内販売の強化を中心に、販売チャネルの多様化に取り組んでまいりました。これにより、売上高及び売上総利益は予想を上回って推移し、販売費及び一般管理費も予想を若干上回ったものの、営業利益は予想を上回る見込みとなりました。

なお、第4四半期につきましては、一部海外大手顧客からの受注が第3四半期に先行した影響により、売上高は第3四半期までと比較して落ち着いた推移を見込んでおります。また、中長期的な業務効率化及び収益性向上を目的としたAI活用への投資を予定していることから、一時的に販売費及び一般管理費が増加し、第4四半期単独では営業損失となる見込みです。

もっとも、第3四半期累計期間までの業績が前回予想を上回って推移していることに加え、営業外費用及び特別損失等が予想を下回る見込みであること等により、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益も予想を上回る見込みです。

以上の結果、2026年7月期通期の連結業績予想を上方修正することといたしました。

2. 配当予想の修正

(1) 2026年7月期の配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想		0円35銭	0円35銭
今回修正予想		0円63銭	0円63銭
当期実績	0円00銭		
前期実績 (2025年7月期)	0円00銭	0円35銭	0円35銭

(2) 修正の理由

当社は、株主に対し安定した配当を継続して行うことを配当の基本方針としております。当期も、2025年9月12日に公表した直近の配当予想において、2026年7月期の期末配当として1株当たり0円35銭を計画しておりました。今回、上記業績予想の修正を踏まえ、期末配当予想を1株当たり0円63銭に修正する予定であります。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因により変動する可能性があります。

以上